

学校における感染防止対策の更なる徹底について

1 学校生活における行動のポイント

(1) ウイルスを学校に持ち込まないために（感染源を絶つ）

- ア 日々の健康状態を確認するため、検温・健康観察を徹底すること。
- イ 発熱等の風邪症状がみられる場合は、出席停止とすること。
- ウ 家庭内に体調不良者がいる場合は、出席停止とすること。

(2) ウイルスを学校で蔓延させないために（感染経路を絶つ）

- ア マスクの着用及び手洗いを改めて徹底させること。
※特に合唱活動中のマスクの着用徹底
- イ 常時換気を徹底すること。なお、常時換気が難しい場合には、少なくとも 30 分に 1 回以上（数分間程度）窓を全開にすること。
- ウ 登校後に発熱等の風邪症状がみられる場合は、ただちに帰宅させること。

2 家庭内における児童生徒の行動のポイント

年末年始期間における感染症拡大を防ぐためには、家庭内における感染内における感染防止対策も極めて重要であることから、次に掲げる事項について、特に留意するよう児童生徒の発達段階に応じて指導すること。

(1) 日常生活

- ア 十分な睡眠とバランスの良い食事をとり、免疫力を保つこと。
- イ 帰宅時及び食事前など、石鹸と流水によるこまめな手洗いを徹底すること。
- ウ 室温低下による健康被害が生じないように、暖かい服装を心掛け、常時換気と適度な加湿に努めること。

(2) 外出・買い物

- ア 外出前における検温など健康観察を徹底すること。なお、発熱等の風邪症状が見られる場合は、外出しないこと。
- イ 公共交通機関を利用する時は、マスクを着用し、会話を控えること。
- ウ 接触確認アプリ（COCOA）及び埼玉県 LINE お知らせシステムを積極的に利用すること。

(3) 外食・会食

- ア 彩の国安心宣言をしているなど、感染対策が適切に行われているお店の利用を心掛けること。
- イ 食事中の会話は控えること。
- ウ 少人数・短時間での実施とすること。

(4) 年末年始の過ごし方

- ア 家族以外との不要不急の外出等は、当面の間、可能な限り控えること。
- イ 感染症対策が十分にとられていない施設・イベントの利用は避けること。
- ウ 帰省及び家族旅行等の際は、混雑する場所や時期を避けること。